

NO : 277
2022/ 8

パーキスターン



「パキスタンの星」勲章を受章して
村松耕光



今泉会長叙勲お祝いの会開催

村松耕光先生の叙勲記念に寄せて
山根聡



カラーチー潮騒記 4
松田和憲



パキスタンと宝石の町 (中)
ラホールの宝石市場
須永恵美子

◆ 目 次 ◆

令和3年度協会決算承認報告	(1)
「パキスタンの星」勲章を受章して	松村耕光 (6)
松村耕光先生の叙勲記念に寄せて	山根聡 (8)
今泉会長叙勲お祝いの会開催	(13)
パキスタンと宝石の町 (中) ラホールの宝石市場	須永恵美子 (16)
カラーチー潮騒記 4	松田和憲 (19)
人と食、それは愛。そしてパキスタン (その50)	シャー真理子 (21)
パキスタン・ニュース	(22)

カラチー潮騒記 4

松田和憲

2021年11月後半、全パキスタン・ガソリンスタンド販売店協会(All Pakistan Petrol Pumps Dealers Association)は、販売店の利益率増加を求めて2021年11月25日に全国的なストライキを実施するとの勧告を行った。新型コロナウイルスの一時的な停滞と世界的な経済活動の再開に伴い、原油価格が上昇していた。パキスタンでは2週間に一度、政府がガソリン価格を公示している。これまでは3.91ルピーの販売店手数料が認められていたが、この引き上げを求めて起きたストライキである。10月1日付では125.32ルピー/Lだったのに対し、11月5日には146.81ルピー/Lまで上昇した。協会によるストライキ勧告が出されてから、ガソリンスタンドには長蛇の列ができた。一部のガソリン販売会社は協会のストライキに呼応せず、11月25日に平常通り店を開いていたものの、その夜に協会と政府との交渉が成立し、販売店手数料が4.90ルピーまで認められるようになり、ガソリンを巡る大混乱は1日で幕を閉じた。しかしこれは今考えるとあまりに過ぎなかった⁽¹⁾。

この大混乱の翌日の11月26日、元東京外国語大学で教鞭をとっておられたカラチー在住のムーヌッディーン・アキール先生に誘われて、ウルドゥー語の劇作家の没後50



ウルドゥー語劇作家没後50年記念本の出版イベント会

年を記念した本の出版イベント会に参加した。この劇作家はアキール先生と名前が似ているので、何か関係があるのかと気になっていたが、出身地が同じハイデラバード・デカン(インド側のハイデラバード)で、パキスタン独立後にカラチーにやってきたつながりがあり、数度お会いしているとのことだった。この出版式典には劇作家の親族もおり、前に登壇して思い出を語っておられる際に涙を流している姿が印象的であった。



宅配サービスにおける
配送遅延の注意書き

(1) 2022年7月15日からは236.12ルピー/Lとなっている。

12月9日から12日までカラチー芸術協会主催 (Karachi Arts Council) の第14回国際ウルドゥー語会議に参加した。この開会式典にはウルドゥー文学研究の重鎮や文学者、そしてスィンド州首相のムラード・アリー・シャー氏も出席していた。シャー氏は12月3日に起こったスィヤールコートにおける暴徒集団によるスリランカ人リンチ殺害事件⁽²⁾に



第14回国際ウルドゥー語会議開会式の様子

言及し、過激主義、不寛容に対抗するためには文学が重要であり、国のトップはTLPのサード・リズヴィーのような宗教過激組織ではなく、文学者と対話する必要があるのではないかと話していた。彼の演説自体は良かったが、この開会式が終わると多くのメディアが立ち去ってしまったのは残念であった。

この会議にはインド側からもオンラインから参加しており、2022年6月15日に亡くなられた世界的なウルドゥー語研究者ゴーピー・チャンド・ナーラング (Gopi Chand Narang 1931-2022) 博士も基調講演を行った。私自身全てのセッションには参加できなかったものの、ウルドゥー語だけでなくスィンディー語やパンジャービー語のセッションもあり、非常に知的好奇心が満たされた一週間であった。



オンラインで基調講演を行った
ゴーピー・チャンド・ナーラング博士

(まつだ かずのり・京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 特任研究員)

(2) <https://www.dawn.com/news/1661728> (2022年7月28日最終閲覧)